

衆議院法務委員会ニュース

平成 25.10.30 第 185 回国会第 2 号

10 月 30 日（水）、第 2 回の委員会が開かれました。

1 裁判所の司法行政、法務行政及び検察行政、国内治安、人権擁護に関する件

・谷垣法務大臣、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

黄川田 仁 志君（自民）

- ・外国人土地法の概要及び同法を法務省が所管することになった経緯について、伺いたい。
- ・安全保障上の問題がある土地の外国人及び外国資本による買収の制限への対応について、伺いたい。
- ・安全保障上の問題がある土地に対する外国人等による買収の制限については、防衛省が積極的に関与すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ・安全保障上の問題がある土地の外国人等による買収を制限するために取り組むべき課題について、法務大臣の見解を伺いたい。

階 猛君（民主）

- ・中央公論 1987 年 4 月号で谷垣法務大臣は、スパイ防止法案に反対する論文を書かれており、その考えに沿うと、今回内閣から提出された特定秘密保護法案について問題があると思うが、閣議決定の場で法案提出に賛成した理由は何か、伺いたい。
- ・被災地での不在者財産管理人の選任については、民法第 108 条で双方代理が禁止されているが、被災地の特殊な状況を考えると、複数の不在者に対し一人の不在者財産管理人による手続を認める制度への見直しも必要と考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・死刑制度について、谷垣法務大臣の就任以降の執行状況を伺いたい。また、死刑廃止の検討についての国連拷問等禁止委員会の勧告に対する法務大臣の見解及び法務大臣が執行命令の際に留意していることについて、伺いたい。
- ・死刑制度を存続させるならば、えん罪を防ぐためにも取調べの可視化が必要と考えるが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・嫡出でない子の相続差別規定に対する最高裁の違憲決定が出されたことを踏まえ、早期に改正法案が提出されるべきと考えるが、その提出予定時期並びに平成 8 年の法制審の答申で示された再婚禁止期間の短縮及び選択的夫婦別姓制度導入への考えについて、法務大臣に伺いたい。

西 田 讓君（維新）

- ・昨日の本委員会における法務大臣の挨拶の中で、尖閣諸島については関係機関と連携し適切に対処していく旨の発言があったが、入国管理局及び公安調査庁は具体的などのような業務を行っているのか、伺いたい。
- ・現在の公安調査庁の調査活動は破壊活動防止法を主な法的根拠として行われているが、この法律は形骸化している。日本版 NSC を機能させていくためには、情報コミュニティの一翼を担う公安調査庁の調査機能の強化が必要であり、そのためには、公安調査庁の活動の法的根拠として、形骸化した破壊活動防止法の枠組みから一步踏み出した法整備が必要だと考えているが、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・不法行為による損害賠償請求権の期間の期限について、特定の者にのみ特例を設けることは憲法の法の下での平等に違反すると考えているが、法務大臣の見解を伺いたい。

椎 名 毅君（みんな）

- ・司法修習の資金について給費制から貸与制に移行したが、資金の貸与を受けている司法修習生に係る健康保険料等の社会保険の取扱い及び貸与を受けた資金の税法上の取扱いについて、伺いたい。
- ・司法修習生が本人の名義で不動産を借りることができているのか、裁判所の国家公務員宿舎に入れるのか、共済組合の診療所を利用できるのか、認可保育所の利用資格があるのかなどについて、伺いたい。
- ・司法修習生への給費制を廃止して貸与制に移行した背景は、予算上の問題だと認識しているが、給費制を廃止したことによって生じた予算上のメリットはどれだけあるのか、伺いたい。
- ・本年 6 月に公表された「法曹養成制度検討会議取りまとめ」において、司法修習生への経済的支援の必要性が言及されたが、給費制の復活について、法務大臣の見解を伺いたい。

鈴木貴子君（無）

- ・証拠開示の在り方及び検察による証拠開示の拒否について、法務大臣の見解を伺いたい。
- ・検察の都合に合わないとして意図的に証拠が隠ぺいされ

た事例の存否について、法務大臣の見解を伺いたい。

- ・再審開始決定の手續において通常審と同様の証拠開示制度が規定されていない理由について、伺いたい。
- ・証拠開示制度及び再審制度の在り方について、法務大臣の決意及び信念を伺いたい。

2 自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律案（内閣提出、第183回国会閣法第52号）

- ・提案理由の説明を省略することに協議決定しました。
- ・参考人から意見を聴取することに協議決定しました。